USB光デジタルオーディオ出力アダプタ

D2Link

(USB-HKR2)

取扱説明書

104346-01

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、株式会社アイ・オー・データ機器サポートセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当します。したがって、国外に持ち出す場合には、必ず日本国政府の輸出許可申請など必要な手続きをお取りください。
6) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
7) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
8) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
9) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用又はこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
10) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
11) お客様は、本製品を一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
12) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
13) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

本書の見方

本書での呼び方

呼び方	意　　味
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional Operating System および Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System
Windows	Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 2000の総称

もくじ

1 ご使用になる前に

必ずお読みください

2 インストール

3 使い方いろいろ

4 付録

安全にお使いいただくために

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

■警告および注意事項

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）　「発火注意」を表す絵表示

この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）　「分解禁止」を表す絵表示

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）　「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

本製品をご自分で修理・分解・改造しないでください。

火災や感電、やけど、故障の原因となります。
修理は弊社修理係にご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有償修理となる場合があります。

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります.

本製品の取り扱いは、必ず取扱説明書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

ケーブルにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などは行わないでください。火災や故障の原因となります。

本製品を濡らしたり、水気の多い場所で使用しないでください。

お風呂場、雨天・降雪中、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります.

注意

注意

本製品を使用中に誤った操作をしてデータが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。

故障に備えて定期的にバックアップを行ってください。

禁止

本製品は以下のような場所（環境）で保管・使用しないでください。

故障の原因となることがあります。

●振動や衝撃の加わる場所
●直射日光のあたる場所
●湿気やホコリが多い場所
●温湿度差の激しい場所
●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
●強い磁力電波の発生する物の近く
（磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
●水気の多い場所（台所、浴室など）
●傾いた場所
●本製品に通風孔がある場合は、その通風孔をふさぐような場所での使用（保管は通風孔をふさぐようにしてください。）
●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
●静電気の影響の強い場所
●保温性・保湿性の高い（じゅうたん・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど）場所での使用（保管は構いません。）

禁止

本製品は精密部品です。以下のことにご注意ください。

●落としたり、衝撃を加えない
●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
●重いものを上にのせない
●そばで飲食・喫煙などをしない
●本製品内部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れない

本製品のコネクタ部分や部品面には直接手を触れないでください。

静電気が流れ、部品が破壊されるおそれがあります。また、静電気は衣服や人体からも発生するため、本製品の取り付け・取り外しは、スチールキャビネットなどの金属製のものに触れて、静電気を逃がした後で行ってください。

本製品の特徴

◆ 高品質な音を手軽に

D2LinkはパソコンのUSBインターフェイスに対応した、光デジタルオーディオケーブルです。DVD、CD、MP3をはじめとするパソコンのあらゆるデジタル音声もD2Linkを用いれば、そのままデジタルのクリアな音質で出力することができます。

◆ パソコンからドルビーデジタル(5.1ch)、DTS音声の出力が可能

D2Linkと添付のDVD再生ソフト「WinDVD 3.1」※1を用いれば、DVDのドルビーデジタル(5.1ch)、DTS音声もパソコンからの出力が可能になります※2。お持ちの5.1chスピーカーシステムと組み合わせることで、映画館並の音質を楽しむことが出来ます。なお、弊社製バーチャルドルビーデジタルスピーカー「P2DiPOLE」との接続も可能です。

※1 添付のDVD再生ソフト「WinDVD 3.1」は、サービス品につき弊社ではサポートいたしかねます。サポート窓口は46ページ【サービス品に関するお問い合わせ】を参照してください。

※2 ドルビーデジタル(5.1ch)、DTS音声を出力中は、他のサウンドは再生できません。
また、「WinDVD 3.1」はMacintoshに対応しておりません。

◆ パソコンとMDが簡単につながる

話題のMP3をはじめ、Wave、MIDI、RealAudioストリームなどのあらゆるパソコン上のデジタル音声を、D2Linkの「光デジタル出力端子」から出力することができます。MDレコーダーをはじめとする光デジタル入力対応デジタル録音機器※と接続し、高音質のまま録音が可能です。

※ サンプリングレートが48kHzに対応している必要があります。

◆ 高音質・低雑音設計

アナログ回路を一切排除したデジタルオーディオ設計。
さらに外部に音源を出すことで、パソコンからのノイズを完全にシャットアウト。D2Linkを用いればデジタルならではのクリアな音声の再生・録音が可能になります。

◆ USB接続

パソコンのふたを開けることなく、簡単に接続が可能。
外部電源が不要なのでACアダプタの配線やコンセントが要らず、
机のまわりもすっきり。

◆ 光デジタルケーブルを標準添付

D2Linkには1mの「光デジタルケーブル」を標準添付しております。
さらにMD等のポータブル機器に採用されている「光ミニプラグ」と据え置き型機器の「光角型プラグ」の両方に対応する「光端子変換プラグ」(角型→丸型)も同梱しております。

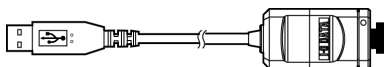
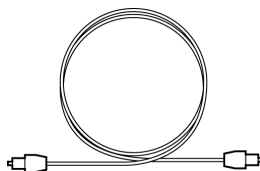
1 ご使用になる前に

この章では、本製品をご使用になる上で必要となる事項を説明しますので、最初に必ずお読みください。

箱を開けたら

ご使用の前に以下のものがそろっていることをご確認ください。
□にチェックをつけながら、ご確認ください。
万一、不足品がありましたら、弊社サポートセンターまでお知らせください。

箱・梱包材は大切に保管し、修理などの輸送の際にご利用ください。

□ 本製品（1本　ケーブル長 17cm）

□ 光デジタルケーブル（1m）

□ 光端子変換プラグ（角形→丸形）

☑ 取扱説明書（1冊）

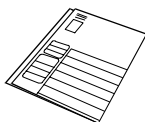
□ USB-HKR2用WinDVD CD-ROM（1枚）
【WinDVD 3.1】

※「WinDVD 3.1」のインストール時やユーザーサポート時に必要なシリアル番号が記載されています。大切に保管してください。

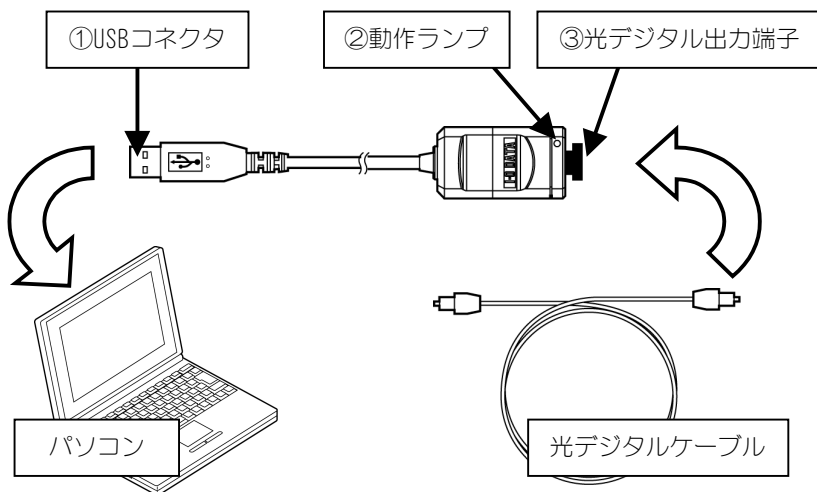
☐ ハードウェア保証書（1枚）

☐ ハードウェアシリアルNo.シール（1枚）

※ハードウェアシリアルNo.シールをハードウェア保証書とユーザー登録カードに貼ってください。

☐ ユーザー登録カード（1枚）

ユーザー登録は済ませましたか？
「ユーザー登録カード」に登録方法が記載されています。登録してから次ページへ進みましょう。

各部の名称

本製品の各部の名称は、以下のようになっています。

①USBコネクタ	お使いのパソコンのUSBポートに接続します。
②動作ランプ	USBコネクタをパソコンに接続すると、青色に点灯します。
③光デジタル出力端子	同梱の光デジタルケーブルを接続します。 ※出荷時は、端子にキャップが付いた状態です。 本製品を使用する時は、キャップを取り外してください。また、使用しない時は、必ずキャップで端子にふたをしてください。（キャップは紛失しない様ご注意ください。）

動作環境

■Windows■

対応機種	USB インターフェイス搭載の NEC PC98-NX シリーズおよび DOS/V マシン※ ※弊社では、OADG 加盟メーカーの DOS/V マシンで動作確認を行っています。 ・CPU：MMX Pentium 166MHz 以上/メモリ:32M バイト以上（Windows Me/98 SE の場合） ・CPU：MMX Pentium 166MHz 以上/メモリ:64M バイト以上（Windows XP/2000 の場合）
対応 OS（日本語版）	Windows XP Windows 2000 Windows Me Windows 98 SE
USB コネクタ	本製品接続時に１つ必要（A タイプ）
CD-ROM ドライブ	添付ソフトウェアのインストール時に必要

■Macintosh■

対応機種※1	PowerPC G3以上で、USBインターフェイス標準搭載の以下の機種 iMac, iMac DV, iBook, PowerMac G4 Cube,PowerMac G4 PowerMacintosh G3※2, PowerBook G4, PowerBook G3※3
対応 OS	Mac OS 9.0.4/9.1/9.2.1/10.1/10.1.1
USB コネクタ	本製品接続時に１つ必要（A タイプ）

※1 Macintosh では、PCM のみ対応です。
※2 Blue & White 以降。
※3 Bronze keyboard 以降。

■ 添付ソフトウェア■

WinDVD 3.1

CPU/メモリ	・CPU:PentiumⅡ 350MHz以上 PentiumⅡ 300MHz以上(DVD再生支援機能を搭載したグラフィックチップを使用している場合) ・メモリ:32Mバイト以上(Windows Me/98 SE/98/95 OSR2) 64Mバイト以上(Windows XP/2000/NT 4.0)
対応OS	Windows XP/2000/Me/98 SE/98/95 OSR2/ NT4.0(ServicePack4以上)
ハードディスク	20Mバイト以上の空き
その他	・2倍速以上のDVD-ROMドライブ ・ハードウェアオーバーレイをサポートしたグラフィックボード

※上記の条件は、コマ落ちなく再生を行うための最低条件となりますが、システムの状態や再生タイトルによっては、この条件を満たしている場合でも、コマ落ちが生じることがあります。ご了承ください。

注意していただきたいこと

・ **本製品を使用中は、本製品に接続された機器側で音量の調整を行ってください。**

・ **ドルビーデジタル(5.1ch)、DTS音声とPCM 2chの音声を同時に出力することはできません。**

・ **DVDの音声をMDに録音することはできません。**

・ **本製品を使用しない時は、必ず付属のキャップで光デジタル出力端子にふたをしてください。**

端子内部にゴミが入ると正しく音声が出力されない恐れがあります。

・ **他のオーディオデバイス（サウンドカード等）との併用は出来ません。**

もともとインストールされているサウンドカードや、マザーボード内蔵のオーディオ機能などは自動的に無効になります。ただし、使用するオーディオデバイスを選択できる機能を持ったアプリケーションでは、併用が可能な場合もあります。

尚、既存のサウンドカードを取り外したり、ジャンパやBIOSによってハードウェア的に無効にする必要はありません。

・ **MIDIファイルの再生は、「Microsoft GS Wavetable SW Synth(WDM専用)」のみ利用可能です。**

一般的なソフトウェアシンセサイザー（ヤマハSoftSynthesizer等）は、お使いになれません。

・ **本製品そのものから音声が出力されるわけではありません。**

音声は本製品に接続されたデジタルオーディオ機器を通じて出力されます。

なお、MDレコーダー等の録音機器と接続する場合には、録音状態または録音待機状態にしておく必要があります。AVアンプ等では入力端子に接続するだけで、音声の出力が可能です。

・ **MP3データはファイルのままMDに転送されるわけではありません。**

「MP3ファイルのMDへの録音」は、MP3の再生音がMDにデジタルで録音されることを意味します。音声ファイルが本製品を介してファイルの状態でMDに転送されるわけではありません。

注意していただきたいこと

- 本製品はパソコン本体のUSBポートに直接接続してお使いください。
  USBハブを介して接続した場合の動作は、保証いたしません。
- Macintoshで使用する場合、本体が起動した後に本製品を接続してください。
- ドルビーデジタル(5.1ch)、DTS音声の出力は、本製品と添付のDVD再生ソフト「WinDVD 3.1」との組み合わせにおいてのみ可能です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI

2 インストール

この章では、インストールについて説明します。インストール作業はご使用の OS により異なります。

Windows XPにインストール　　　　　１０ページ

お使いのOSがWindows XPの場合は、このページをお読みください。

Windows 2000にインストール　　　　１２ページ

お使いのOSがWindows 2000の場合は、このページをお読みください。

Windows Meにインストール　　　　　１４ページ

お使いのOSがWindows Meの場合は、このページをお読みください。

Windows 98にインストール　　　　　１６ページ

お使いのOSがWindows 98の場合は、このページをお読みください。

Macintoshにインストール　　　　　２２ページ

お使いのパソコンがMacintoshの場合は、このページをお読みください。

Windows XPにインストール

Windows XPを起動します。

コンピュータの管理者のアカウントでログオンしてください。

パソコンのUSBポートと本製品のUSBコネクタを接続します。

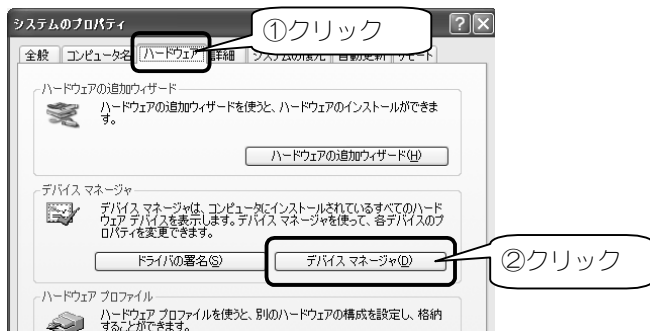
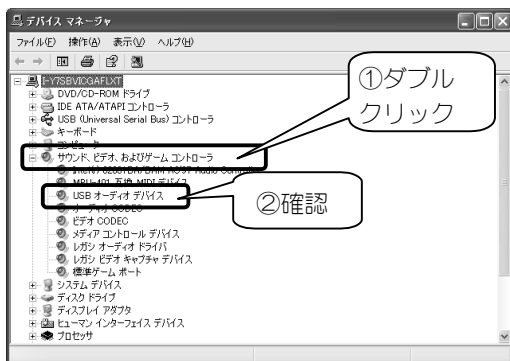
Windows XPが完全に起動した状態で接続します。

- **パソコンの USB ポートの位置は、パソコンの取扱説明書を参照してください。**
- **USB コネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。**

この後 自動的にインストールされ、インストールは終了です。

インストール終了後の確認

1 [スタート]→[マイコンピュータ](右クリック)→[プロパティ]をクリックします。

2 [ハードウェア]タブをクリックして、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

3 [サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ]をダブルクリックし、[USBオーディオデバイス]が表示されることを確認します。

これでインストールが正常に行われたことが確認できました。

Windows 2000にインストール

Windows 2000を起動します。

Administrator権限でログオンしてください。

パソコンのUSBポートに、本製品のUSBコネクタを差し込みます。

Windows 2000が完全に起動した状態で接続します。

・パソコンの USB ポートの位置は、お使いの機器の取扱説明書を参照してください。
・USB コネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。

この後 自動的にインストールされ、インストールは終了です。

インストール終了後の確認

[マイコンピュータ]アイコンを右クリックして、[プロパティ]をクリックします。

[ハードウェア]タブをクリックして、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

[サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ]をダブルクリックし、[USBオーディオデバイス]が表示されることを確認します。

これでインストールが正常に行われたことが確認できました。

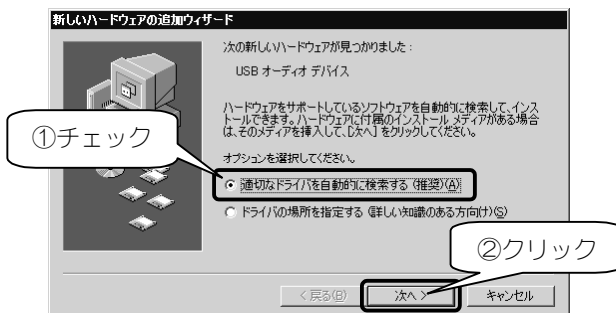
Windows Meにインストール

Windows Meを起動します。

パソコンのUSBポートに、本製品のUSBコネクタを差し込みます。

Windows Meが完全に起動した状態で接続します。

・パソコンの USB ポートの位置は、お使いの機器の取扱説明書を参照してください。
・USB コネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。

しばらくすると以下の画面が表示されますので、[適切なドライバを自動的に・・・]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。

[完了]ボタンをクリックします。

これでインストールは終了です。

インストール終了後の確認

[マイコンピュータ]アイコンを右クリックして、[プロパティ]をクリックします。

[デバイスマネージャ]タブをクリックします。
[サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ]をダブルクリックし、[USBオーディオデバイス]が表示されることを確認します。

これでインストールが正常に行われたことが確認できました。

Windows 98にインストール

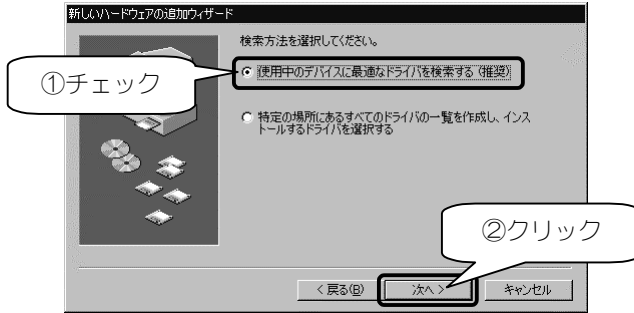
Windows 98を起動します。

パソコンのUSBポートに、本製品のUSBコネクタを差し込みます。

Windows 98が完全に起動した状態で接続します。

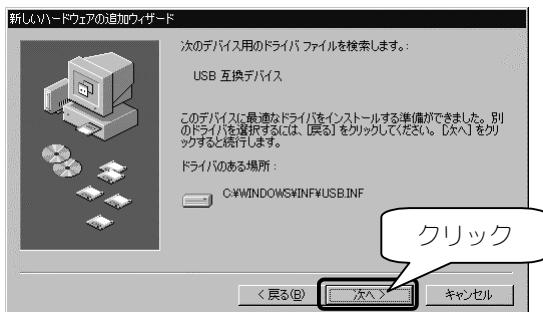
・パソコンの USB ポートの位置は、お使いの機器の取扱説明書を参照してください。
・USB コネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。

しばらくすると以下の画面が表示されますので、[次へ]ボタンをクリックします。

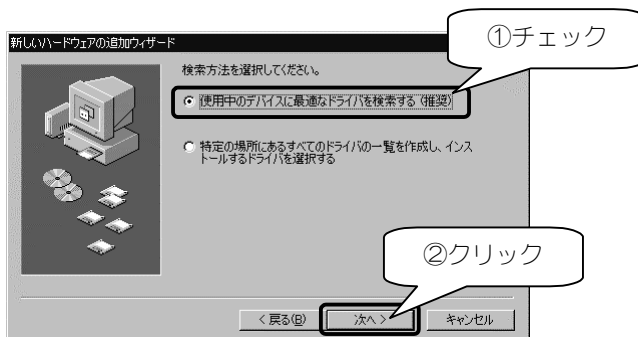
[使用中のデバイスに最適な･･･]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。

[次へ]ボタンをクリックします。

チェックの個所や枠内の文字は、お使いの環境により異なります。
そのまま、[次へ]ボタンをクリックしてください。

[次へ]ボタンをクリックします。

7
[完了]ボタンをクリックします。

[次へ]ボタンをクリックします。

9

[使用中のデバイスに最適な･･･]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。

[次へ]ボタンをクリックします。

Windows 98 CD-ROMを要求してくる場合は、指示に従ってCD-ROMをセットし、CD-ROMドライブのWin98フォルダを指定してください。

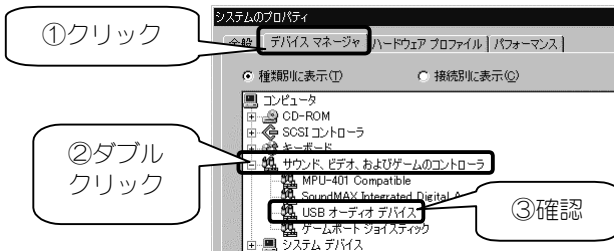
[次へ]ボタンをクリックします。

[完了]ボタンをクリックします。

これでインストールは終了です。

インストール終了後の確認

[マイコンピュータ]アイコンを右クリックして、[プロパティ]をクリックします。

[デバイスマネージャ]タブをクリックします。
[サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ]をダブルクリックし、[USBオーディオデバイス]が表示されることを確認します。

これでインストールが正常に行われたことが確認できました。

Macintoshにインストール

Macintoshを起動します。

パソコンのUSBポートに、本製品のUSBコネクタを差し込みます。

Macintoshが完全に起動した状態で接続します。

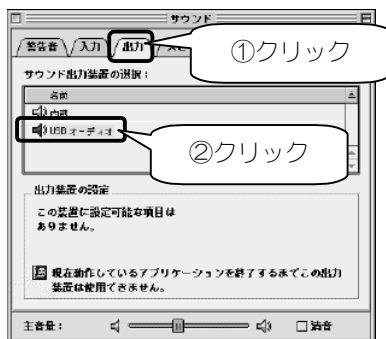
- **パソコンの USB ポートの位置は、お使いの機器の取扱説明書を参照してください。**
- **USB コネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。**

この後 自動的にインストールされ、インストールは終了です。
引き続き、本製品を使用するための設定を行います。

Mac OS 9.2.1以前の場合

アップルメニューをクリックし、[コントロールパネル]→[サウンド]を順にクリックします。

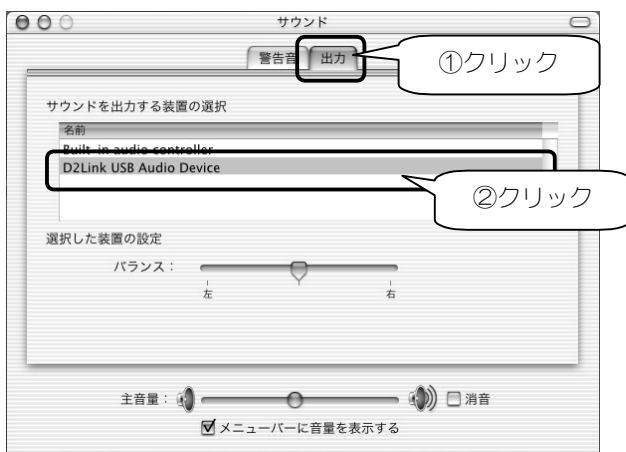
2

[出力]タブをクリックし、[名前]欄で[USBオーディオ]をクリックします。

画面左上の をクリックして、画面を閉じます。

これで、本製品をお使いいただけます。

Mac OS 10.1以降の場合

1 アップルメニューをクリックし、[システム環境設定]→[サウンド]を順にクリックします。

2 [出力]タブをクリックし、[サウンドを出力する装置の選択]欄で[D2Link USB Audio Device]をクリックします。

[警告音]タブをクリックし、[警告音の再生元]欄で
[D2Link USB Audio Device]をクリックします。

画面左上の をクリックして、画面を閉じます。

これで、本製品をお使いいただけます。

Macintosh で使用する場合、本体が起動した後に本製品を接続してください。

3 使い方いろいろ

本製品は光デジタルケーブルを接続できるオーディオ機器なら、何でも接続できます。
ここでは、接続例のほんの一部を紹介します。

CD-ROMドライブの確認　　２６ページ

本製品をお使いになる前に、CD-ROMドライブが「デジタル音声抽出」に対応しているかどうか確認します。

用途にあわせて接続　　２７ページ

本製品は、光入力端子を持った機器なら何でも接続可能です。
ここでは、多様な使い方の一部を紹介します。

添付ソフトウェアについて　　３２ページ

本製品に添付されているソフトウェアについて説明します。

CD-ROMドライブの確認

本製品で音楽CDの再生を行う場合、「デジタル音声抽出」に対応したCD-ROMドライブが必要です。以下の方法で対応しているかどうか確認してください。
※Macintoshでお使いの場合は、この確認は不要です。

●Windows XPの場合

[スタート]→[コントロールパネル]→[サウンド、音声、およびオーディオデバイス]→[サウンドとオーディオデバイス]をクリック→[ハードウェア]タブをクリックし、お使いのCD-ROMドライブをクリックし、[プロパティ]をクリックします。
[プロパティ]タブをクリックし、[このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする]があるか確認します。
ある場合はチェックします。

●Windows 2000の場合:

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[サウンドとマルチメディア]をクリック→[ハードウェア]タブをクリックし、お使いのCD-ROMドライブをクリックし、[プロパティ]をクリックします。
[プロパティ]タブをクリックし、[このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする]があるか確認します。
ある場合はチェックします。

●Windows Meの場合

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]をクリック→[デバイスマネージャ]タブ内の[CD-ROM]をダブルクリックして下に表示されるデバイスをダブルクリックします。
[プロパティ]タブをクリックし、[このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする]があるか確認します。
ある場合はチェックします。

●Windows 98の場合

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[マルチメディア]をクリックします。[音楽CD]タブをクリックし、[このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする]があるか確認します。
ある場合はチェックします。

用途にあわせて接続

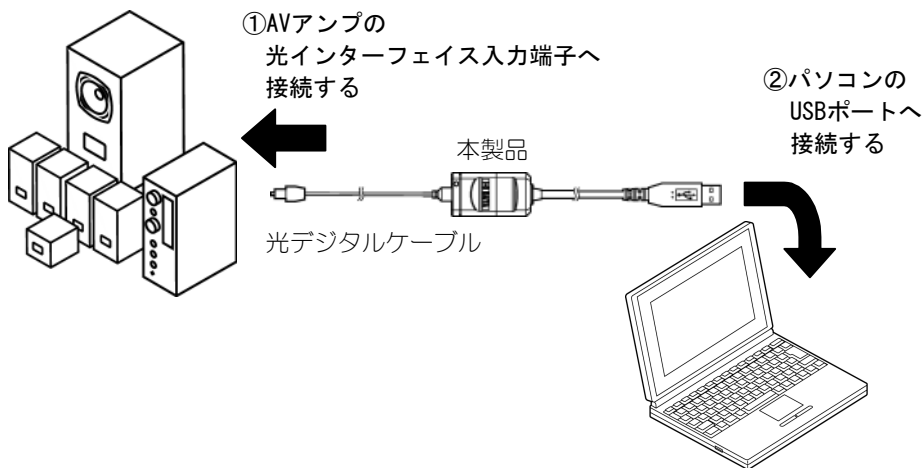
本製品では、光入力端子を持った機器なら何でも接続できます。
普段パソコンから出力される「音」、例えば音楽CDや、DVDタイトル、MIDI、WAVEといった音をいつものとおり再生するだけで、高音質のまま出力します。
MDレコーダーで録音したり、スピーカーを接続してDVDタイトルを鑑賞したりと使い方はさまざまです。
下記は使い方のほんの一例です。

AVアンプ + 5.1chスピーカーシステムと接続

下記のように接続します。（光デジタル対応オーディオ機器との接続例です。）
DVDタイトルの再生には、添付の「WinDVD 3.1」をご使用ください。
※再生機器側で、ドルビーデジタル、DTSに対応している必要があります。

- **「WinDVD 3.1」の使用方法につきましては、WinDVD のヘルプボタンで表示されるヘルプをご覧ください。**
- **「WinDVD 3.1」にてドルビーデジタル、DTS 音声を再生中は、本製品に接続された機器側(AV アンプ等)で音量の調整を行ってください。**
- **「WinDVD 3.1」と他のDVDプレーヤーとの併用は避けてください。**
  詳しくはインタービデオジャパン株式会社(46ページ参照)へお問い合わせください。

AVアンプ + 5.1chスピーカーシステムとの接続例

① 本製品に光デジタルケーブルの端子を接続し、光デジタルケーブルのもう一方の端子をAVアンプの光インターフェイス入力端子に接続します。
② 本製品のUSBコネクタを、パソコンのUSBポートへ接続します。

DVD のドルビーデジタル(5.1ch)、DTS 音声をお楽しみになる場合は
→添付の「WinDVD 3.1」画面内の[プロパティ]メニュー →[オーディオ設定]
で、[S/PDIF 出力を有効にする(P)]を選択してください。

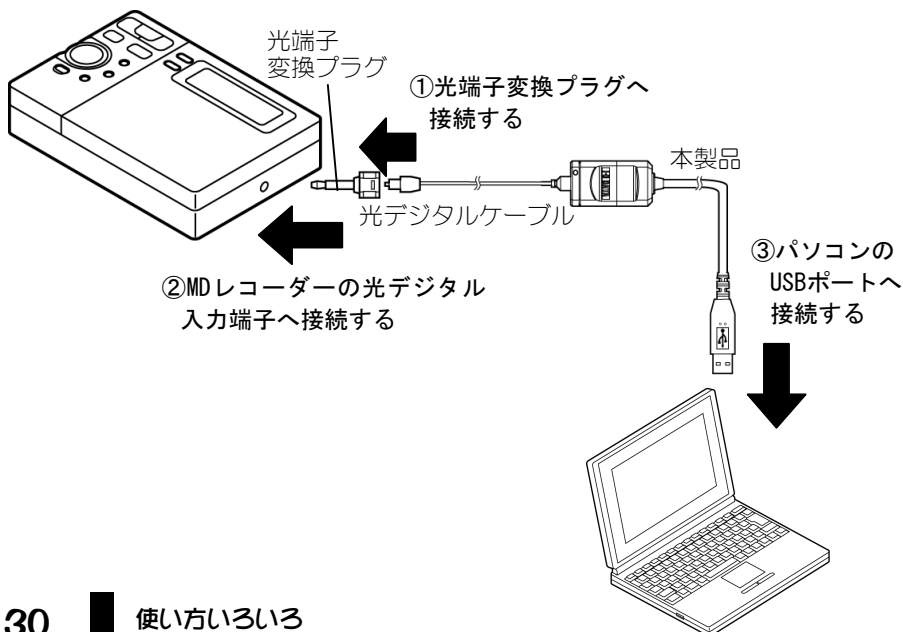
MDレコーダーと接続

MDレコーダーは、録音待機状態にし、パソコン側でいつもどおりに音の再生をしてください。

・DVD の音声は録音できません。
・本製品の出力サンプリングレートは、48KHz 固定です。
接続していただく機器は 48KHz の入力に対応している必要があります。サンプリング・コンバーター（48KHz→44KHz）を搭載していない MD レコーダーなどではご利用いただけませんのでご注意ください。

MDレコーダーとの接続例

① 光デジタルケーブルの一方の端子と、光端子変換プラグを接続します。
② 本製品に光デジタルケーブルの端子を接続し、光デジタルケーブルのもう一方の端子をMDレコーダーの光デジタル入力端子に接続します。
③ 本製品のUSBコネクタを、パソコンのUSBポートへ接続します。

光端子
変換プラグ
①光端子変換プラグへ
接続する
本製品
光デジタルケーブル
②MDレコーダーの光デジタル
入力端子へ接続する
③パソコンの
USBポートへ
接続する

スピーカーや MD レコーダー等、本製品への接続機器の取り扱い（本製品との接続個所など）については、接続機器に添付の取扱説明書をご覧ください。

本製品は、パソコン起動中でも USB ポートからの抜き差しが可能です※。必要なときだけ接続し、それ以外は、別の USB 機器を使うといったこともできます。
※ 再生中は本製品を抜き差ししないでください。

添付ソフトウェアについて

本製品をより効果的にお使いいただくために、本製品には下記のソフトウェアを添付しております。以下を参考にした上でソフトウェアをインストールしてください。

添付ソフトウェアについてのお問い合わせは
46ページ【サービス品に関するお問い合わせ】を参照してください。

WinDVD 3.1

WinDVD 3.1 は Windows 上で DVD を再生するソフトウェア DVD プレーヤーです。美しくクリアに DVD の映像を再生できるだけでなく、本製品と組み合わせて、光デジタル出力端子からドルビーデジタル(5.1ch)、DTS 音声を出力することができます。

WinDVD はドルビーマルチチャンネルと、ドルビーヘッドフォンの認証を取得!!
Windows XP/2000/Me/98/98 SE/95 OSR2/NT 4.0(SP4 以上)を
完全サポート!!
お手持ちのパソコンと WinDVD を使って高級 DVD プレーヤーに大変身!!

◆インストール方法◆

「USB-HKR2用WinDVD CD-ROM」をCD-ROMドライブに入れてください。自動的にセットアップが始まります。自動でセットアップが起動しないときは、CD-ROM内の「Setup.exe」をダブルクリックします。あとは画面の指示にしたがって進めてください。

以下の画面が表示された場合は、「USB-HKR2用WinDVD CD-ROM」のカバーの表面に貼ってあるシリアルNo.※を入力してください。

※D2Linkのシリアル番号ではありません。
　半角/全角のお間違えのないように慎重に入力してください。
　アルファベットの「I」、「O」と数字の「1」、「0」の違いにご注意ください。

◆主な機能◆

・WinDVDはドルビーマルチチャンネルの認証を取得しています。
・ドルビーデジタル出力（AC-3）5.1チャンネルと3Dポジショナルデジタルオーディオを完全サポートします。
　※リテイル版に限ります。OEM版に関しましては、S/PDIF出力できる環境が必要になります。
・最新DTS出力とS/PDIF出力に対応しています。
・WinDVDはDVDプレーヤーが持つ基本的な機能を全て備えています。
・全地域CSSリージョンコードサポート（五回まで変更可能）
・フルスクリーン再生・ナビゲーションメニュー・カラオケ

・リアルタイムマルチアングルの切り替え
（最高9つのアングルまで）
・マルチ音声（最高8つの言語まで）
・マルチ字幕（最高32種まで）
・パレンタルロック
・ノイズがない一時停止、早送り、早戻し、コマ送り再生機能
・リアルタイムに輝度と色合いを調整
・Windows XP対応（DirectX8対応になっているため、XP上のMediaPlayerにおいても問題なくDVD再生できます）
・VR再生対応
※ドライブがそのメディアに対応している必要があります。
UDF2.0システムに入っている必要はございません。
・タイムストレッチ機能（-0.7～+2.0倍速までの変速再生で、音声もそのスピードに合わせてお聞きいただけます。）
・ブックマークのサムネイル表示（ブックマークした画面を静止画にてサムネイル表示できます）
・DVD / SVCD / VCD / 音樂 CD / Enhanced CD各種メディア認識・自動再生
・流行のMP3音楽ファイルの再生
・映像加速モード、ビデオボード動き補償・再生支援(Hardware Motion Compensation)、IDCT
・日本語、英語、繁体中国語、簡体中国語、ドイツ語、イタリア語、オランダ語、スペイン語、ブラジル、ポルトガル(ブラジル)語、デンマーク語、フィンランド語、韓国語、ノルウェー語、スウェーデン語、タイ語など二十四種類の言語を自動認識し、インストールします。

◆効果◆
・再生はクリアで美しく、ほとんどコマ落ちしません。
・IDCTとビデオボード動き補償・再生支援(HWMC)に対応。
24または30fps(秒間コマ数)で再生するとき、パソコンの負荷が少ないため、他の作業をよりスムーズに進行することができます。

付録

困ったときには

MDレコーダーに録音されない

対処１ **MDレコーダーは録音待機状態になっていますか？**

MDレコーダーでの録音方法等については、MDレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

対処２ **本製品から音声が出力されていますか？**

次ページ「本製品から音声が出力されていない」の対処方法を参照してください。

MDレコーダーの表示部に「Din Unlock」という文字が点滅する

対処 **シャープ製MDレコーダの一部の機種でこの現象が確認されています。**

この現象が発生しても、ご使用上の問題はありません。そのままご使用ください。

MIDIが再生できない（Windowsのみ）

対処 **本製品を接続したままWindowsを再起動してみてください。**

Windows起動中に本製品をパソコンから外し、その状態でパソコン内蔵のサウンドボードを使ってMIDIの再生をした場合、本製品を接続しなおしても本製品から音の出力がされない場合があります。このような場合は、本製品をパソコンに接続したままWindowsを再起動してみてください。

本製品から音声が出力されない

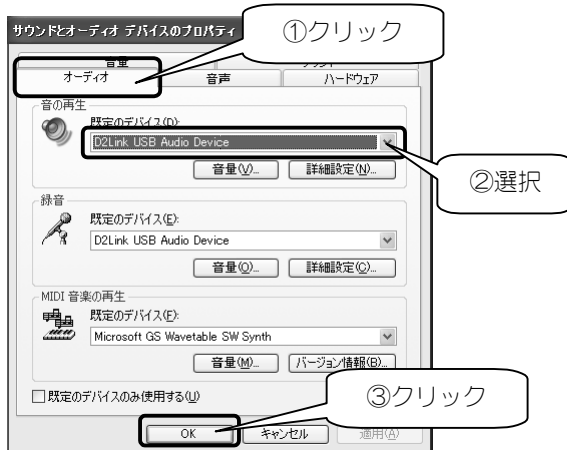
対処 パソコンの設定で、本製品が選択されていない

パソコン側で本製品を選択してください。設定方法はお使いのOSのページをお読みください。

・Windows XPの場合→以下の手順
・Windows 2000/Meの場合→次ページ
・Windows 98の場合→39ページ
・Macintoshの場合→40ページ

Windows XPの場合

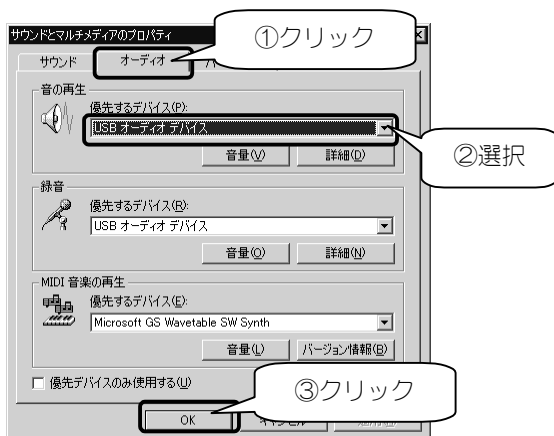
[スタート]→[コントロールパネル]→[サウンド、音声およびオーディオデバイス]→[サウンドとオーディオデバイス]を順にクリックします。

[オーディオ]タブをクリックし、[音の再生]欄の[既定のデバイス]で[D2Link USB Audio Device]を選択して、[OK]ボタンをクリックします。

これで、正常な状態で本製品をお使いいただけます。

Windows 2000/Meの場合

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[サウンドとマルチメディア]を順にクリックします。

[オーディオ]タブをクリックし、[音の再生] ※欄の[優先するデバイス]で[USBオーディオデバイス]を選択して、[OK]ボタンをクリックします。

※Windows Meの場合は[再生]

これで、正常な状態で本製品をお使いいただけます。

Windows 98の場合

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[マルチメディア]を順にクリックします。

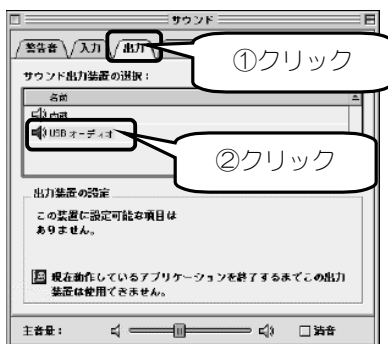
[オーディオ]タブをクリックし、[再生]欄の[優先するデバイス]で[USBオーディオデバイス]を選択して、[OK]ボタンをクリックします。

これで、正常な状態で本製品をお使いいただけます。

Macintoshの場合

■Mac OS 9.2.1 以前の場合

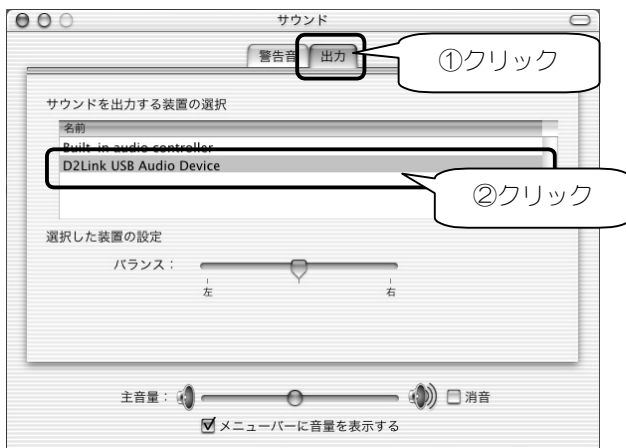
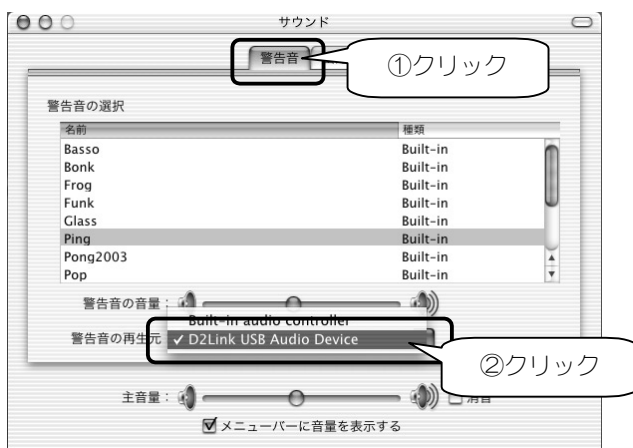
アップルメニューをクリックし、[コントロールパネル]→[サウンド]を順にクリックします。

[出力]タブをクリックし、[名前]欄で[USBオーディオ]をクリックします。

画面左上の□をクリックして、画面を閉じます。

これで、正常な状態で本製品をお使いいただけます。

■Mac OS 10.1以降の場合

アップルメニューをクリックし、[システム環境設定]→[サウンド]を順にクリックします。

2 [出力]タブをクリックし、[サウンドを出力する装置の選択]欄で[D2Link USB Audio Device]をクリックします。

3 [警告音]タブをクリックし、[警告音の再生元]欄で[D2Link USB Audio Device]をクリックし、画面左上の をクリックして画面を閉じます。

これで、正常な状態で本製品をお使いいただけます。

WinDVD3.1で「2スピーカモード」での再生は正常だが「S/PDIF」にチェックを入れると、音声が聞こえなくなる

対処 以下の点をご確認ください。

- **再生ソフトはDOLBY DIGITAL方式または、DTS方式で記録されていること。**

  再生タイトルパッケージ背面などに音声記録方式が記載されておりますのでこちらに「DOLBY DIGITAL」または「DTS」という記載があるかお確かめください。

- **ボリューム設定が「メインのボリュームが最小」「WAVE OUTが最大」になっていること**

  タスクバー上のボリュームアイコンをダブルクリックし、設定が、「メインのボリュームが最小」「WAVE OUTが最大」になっているかお確かめください。

パソコンが起動しない、または省電力モードから復帰できない

対処 以下の方法でもう1度接続してください。

本製品を接続した状態でパソコンが起動しなかったり、省電力モードから復帰できない場合は、いったんパソコンの電源を切り、本製品をUSBポートから抜いてください。その後、再びパソコンの電源を入れ、パソコンが完全に起動したことを確認後、本製品を接続してください。

「WinDVD 3.1」が正しく動作しない

対処 インタービデオジャパン株式会社へお問い合わせください。

問い合わせ先は、本書46ページ【サービス品に関するお問い合わせ】を参照してください。

仕様

型番	USB-HKR2
インターフェイス	USB Specification Ver.1.1 準拠
出力サンプリング周波数	量子化16ビット・サンプリングレート48kHz ※その他のサンプリングレートは48kHzに変換
出力コネクタ	光デジタル音声出力
使用温度範囲	+5℃～+35℃ ※パソコンの動作する温度であること
使用湿度範囲	20%～80% ※結露しないこと ※パソコンの動作する湿度であること
電源電圧	DC5.0V ※USBポートより供給
消費電流	140mA（MAX）
ケーブル長	170mm
サイズ	26.5（H）×55（L）×30（W）mm ※ケーブル等突起部を除く
質量	約50g ※ケーブルを含む

用語解説

DTS　（*Digital Theater System*）

映画の世界で完成したテクノロジーをホームシアター用に発展させたのが、DTSです。 完全に独立した 6 チャンネルによる唯一の 5.1 サラウンド・サウンド音場は、CD を凌駕するクリアーな音質と、革命的 ３次元の体験をリスナーに提供します。 音楽は、独自の録音による DTS-CD で、 映画は DTS-LD、DVD で提供されております。

PCM（ﾋﾟｰｼｰｴﾑ）（*Pulse Code Modulation*）

デジタル信号をまったく圧縮せずに記録しておく方式です。CD-Audio、また、DVD でもこの音声記録方式に対応しています。複数のサンプリングレートと量子化ビット（16、20、24bit）が規定され、高品質な再生が可能です。

ドルビーデジタル （*Dolby Digital*）

DVD に採用されている音声の記録方式です。特に、ドルビーデジタル 5.1ch 方式では、フロント 3ch、サラウンド 2ch、サブウーハー0.1ch で計 5.1ch を用いて、映画館の迫力と臨場感あふれる立体音場を家庭で再現できます。

サポートセンターへのお問い合わせ

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及び FAX 番号
2. ご使用の弊社製品名
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
4. ご使用の OS とアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. 現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容)。

■オンライン

インターネット　　http://www.iodata.jp/support/

■郵便

〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地　アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「D2Link」係　宛

■電話

電話番号　金沢　**076-260-3646**
　　　　　東京　**03-3254-1036**
受付時間　9:30～19:00　月～金曜日(祝祭日を除く)

■FAX

FAX 番号　金沢　**076-260-3360**
　　　　　東京　**03-3254-9055**
宛先　株式会社アイ・オー・データ機器
　　　　サポートセンター「D2Link」係　宛

本製品に関するお問い合わせは、サポートセンターのみで行っています。
予めご了承ください。

サービス品に関するお問い合わせ

サービス品（添付ソフト）に関しては、以下へお問い合わせください。

サービス品につき、弊社ではサポート致しておりません。

「WinDVD 3.1」に関するお問い合わせ

インタービデオジャパン株式会社

住所：〒108-0074　東京都港区高輪 2丁目14番17号 グレイス高輪 9F
ホームページ：http://www.intervideo.co.jp/
ユーザーサポート e-mail：support@intervideo.co.jp
電話番号：03-5447-0576
FAX番号： 03-5447-6689
受付時間：月～金曜日　9:30～12:00、13:30～17:00
（祝祭日を除く）

保証について

■保証期間

保証期間は、お買い上げの日より１年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有償修理となります。また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。
弊社が販売終了を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

■保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

- 本製品の使用によって生じた、データの消失及び破損。
- 本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。
- 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

修理について

製品の修理につきましては、以下の事項をご確認の上、販売店へご依頼いただくか、または下記修理品送付先までお送りくださいます様、お願い致します。

- 原則として修理品は持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担とし、修理後の返送費用は負担させていただきます。
  また、修理品のデータに関しましては保証いたしかねます。
- 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『サポートセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。
- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
  ◇保証書がない場合
  ◇保証書の所定事項が未記入の場合
  ◇逆挿入など誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送、落下、取り付け場所の移設による破損、故障の場合
  ◇落雷などの事故による破損の場合
  ◇本製品を改造した場合
- 保証期間後は有償で修理いたします。
  製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。
- 修理品送付先

住所　〒920-8513
石川県金沢市桜田町2丁目84番地　アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「D2Link」修理係　宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、宅配便または書留郵便小包でのご送付をお願いいたします。

- 修理品納期問い合わせ窓口

受付窓口	**「D2Link」サービス窓口**
電話番号	**金沢　076-260-3663**
受付時間	**9:30～12:00　13:00～17:00　月～金曜日（祝祭日を除く）**

※申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、上記までお問い合わせください。

D2Link(USB-HKR2) 取扱説明書
2002.Jan.10　104346-01
発　行　　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

「WinDVD 3.1」に関するお問い合わせ

インタービデオジャパン株式会社

住所：〒108-0074　東京都港区高輪 2丁目14番17号 グレイス高輪 9F
ホームページ：http://www.intervideo.co.jp/
ユーザーサポート e-mail：support@intervideo.co.jp
電話番号：03-5447-0576
FAX番号： 03-5447-6689
受付時間：月～金曜日　9:30～12:00、13:30～17:00
（祝祭日を除く）